

Sponsorship Highlights

Better Co-Beingアプリ (supported by大林組)

静けさの森や万博会場全体でも利用できるWEBアプリ（インストール不要）です。AR技術を活用し、スマホのカメラ越しに来場者の想いや感動、スタッフのおすすめ情報に出会い、多様な視点で万博を楽しむことができます。

概要（LP）はこちら <https://expo2025.machiapps.com/lp/>

LP



万博会場全体



万博を
もっと面白く、
もっと豊かに。



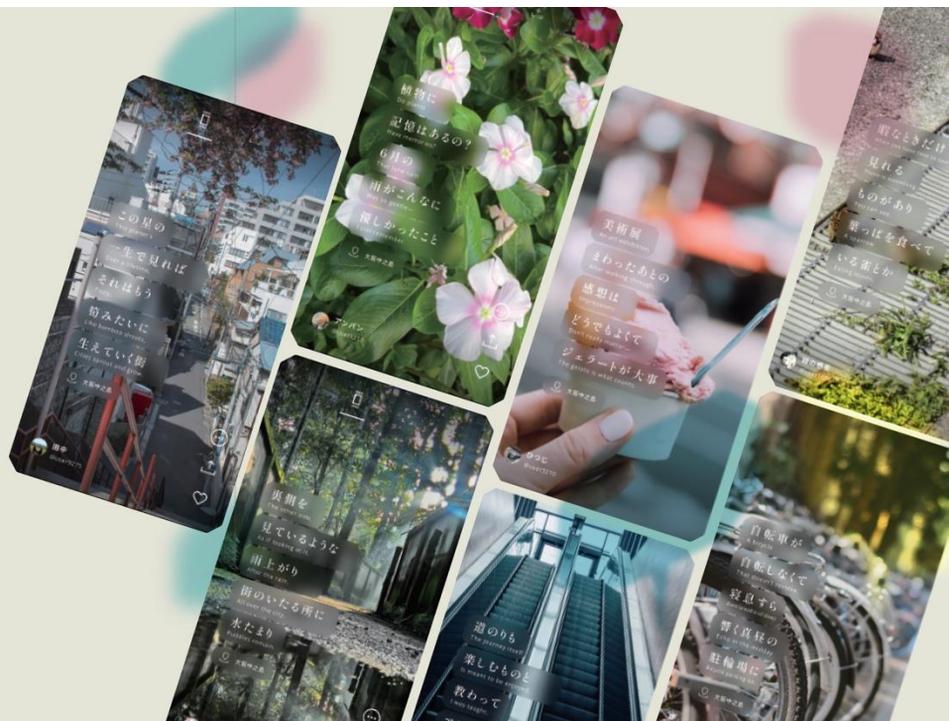
Webアプリで、万博体験はもっと面白く、もっと豊かに。カメラ機能を使えば、DROPSを通じて訪れた場所の特別な瞬間やイベント情報に出会えます。誰かが残した想いや感動が積み重なり、エリアの価値が高まる好循環へ。スポット情報だけでなく、場所の多層的な魅力も発見できます。万博の体験をより深く、より豊かにアップデートしながら、みんなで創る新しい未来を楽しみませんか？

提供：2025年日本国際博覧会協会

誰かの気づきが
まちを、万博を、面白くする

新感覚の投稿フォーマット
DROPS
(ドロップス)

アプリ体験の中核となるのが
新感覚の投稿フォーマット
「DROPS」(ドロップス)
写真とことばが豊かに重なった
自分の、誰かの、気持ちの結晶。
まちや万博の嬉しい情報。
位置情報や角度などの視点情報と共に
場所に落とされ、地図上に残り、
感性に近いDROPSは響き合います。





INNOVATOR IN ELECTRONICS

「未来をリードする一步を、共に。」

株式会社 村田製作所

大阪・関西万博は、世界中から人、モノ、技術、アイデアが集結します。「未来にはこんなことができるんだ！」そんな夢や希望を巡らせる絶好の機会です。「社会をこう変えていきたい」そういった個々の心に宿る想いが集まればそれがやがて大きな力となって、Well-Being な未来へと繋がるでしょう。

皆さんの心に火が灯る祭典にしたい——。村田製作所では、そんな想いを胸にシグネチャーパビリオン“Better Co-Being” に協賛しています。

【村田製作所の技術提供① ふしぎな石ころ】

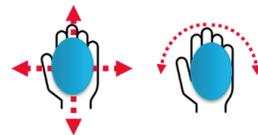
ふしぎな石ころ“echorb”には、特殊な振動により脳にあたかも引っ張られたかのような錯覚を引き起こす 3 ハプティクスをはじめ、位置を検知する LF アンテナ（後述）、他のデバイスと接続して情報のやりとりをする RFID など、多彩な村田製作所の技術を搭載しています。これらの技術により、パビリオン内の各スポットに応じたさまざまな触感、手ごたえ感を表現しています。

バッテリーにも村田製作所製のものを搭載し、空洞共振方式のワイヤレス充電により保管庫を兼ねた充電装置に置いておくだけで充電ができるようになっています。

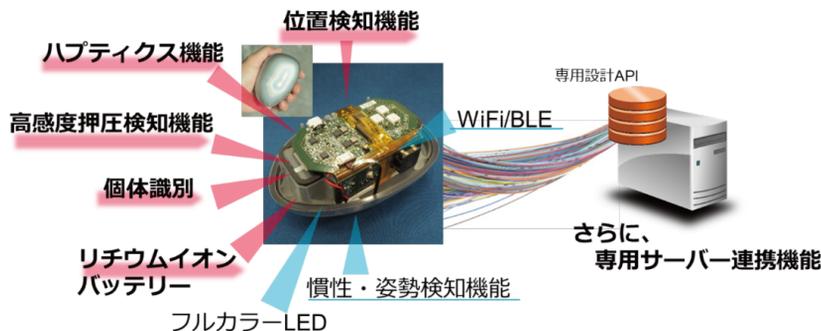
“echorb”はゲームやイベントなどへの展開はもちろん、将来的には視覚障害者の誘導などに活用することで社会課題の解決に寄与することを目指しています。



■ 方向感／回転感



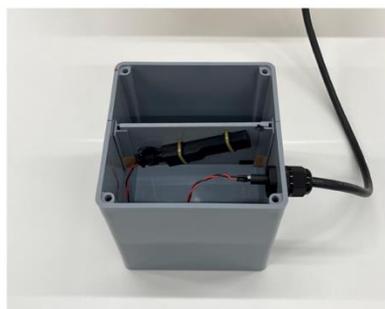
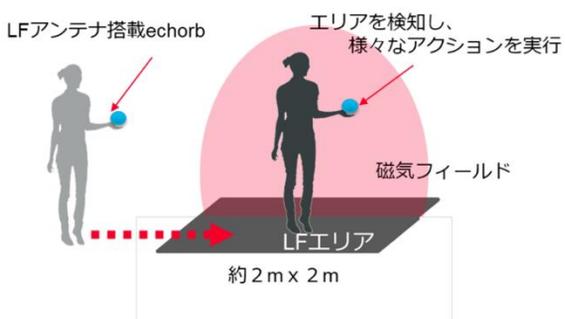
■ 効果音的表現



Sponsorship Highlights

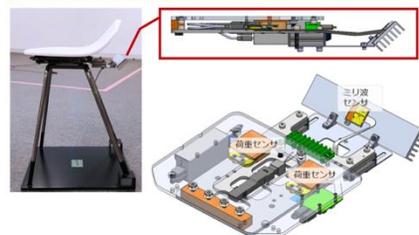
【村田製作所の技術提供② LF アンテナ】

ふしぎな石ころ“echorb”の位置検知にはLF（Low Frequency）アンテナを活用しています。パビリオン内に500本以上埋設されたLF送信アンテナから発せられた磁気信号を、“echorb”に搭載されたLF受信アンテナが検知することで正確な位置検知を実現します。LFアンテナは自動車のスマートキーで既に実用化されていますが、今後はAGV（無人搬送機）やドローンの位置検知などへの活用により物流課題の解決などに貢献していきたいと考えています。



【村田製作所の技術提供③ ミリ波・荷重センサ】

シグネチャーパビリオン“Better Co-Being”の体験は、ふしぎな石ころ“echorb”に自分の鼓動を宿すことから始まります。エントランスに配置された椅子には村田製作所のミリ波センサ、荷重センサが装備されています。心臓の鼓動に伴う体の微小振動をセンサで検出し、その測定データを“echorb”に送り込むことで、“echorb”が鼓動に合わせてドクンドクンと動き出します。体験者は手のひらに自分のいのちを感じながらパビリオンを巡ります。これらのセンサは、日常生活における見守り用途や、車における乗員検知や子供の置き去り検知による事故防止などに貢献していくことを目指しています。



これらのコンテンツは、協力会社の皆さまに多大なお力添えを頂き実現しました。これからも村田製作所は、革新的な技術力と社内外の多様なメンバーの共鳴により、Well-Beingな未来を創造します。

「未来をリードする一歩を、共に。」 株式会社 村田製作所

Sponsorship Highlights

Web3技術を活用し、多様な来場者の「新しい思い出の残し方」を提案

TOPPANホールディングスは、「Better Co-Being」ブロンズパートナーとして協賛しています。TOPPANグループは大阪・関西万博の「EXPO2025バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」内に構築される「Better Co-Being」のバーチャルパビリオンを制作しました。「バーチャル万博」はスマホ・タブレット・PC・VRゴーグルから無料で入場することが出来ます。

本パビリオンでは新しい思い出の残し方を実現するため、来場者が会場で撮影した写真を専用サイトにアップロードし、スタンプやテキストをコラージュした「Journal」として自ら作成することができます。また作成した「Journal」は、バーチャル空間「Gallery」での展示に応募することができます。この画像にSBT（他人に譲渡できないNFT）を付与することで、自分だけのオリジナルデータとして思い出を残すことができます。

「Better Co-Being Journal」Webサイト（スマートフォン専用）

<https://better-co-being-journal.jp/>



作例

バーチャル空間は「Gate」「Galaxy」「Gallery」の3つで構成しています。「Gate」は、「Better Co-Being」の象徴で、多様ないのちの響き合いがもたらす、輝く未来社会を表現した「ダイバースフィア」が浮かぶエントランスです。「Galaxy」では宮田プロデューサーやパビリオンの全協賛社らが想いを込めた「Journal」を、「Gallery」では来場者が応募した「Journal」の中からピックアップ作品を展示し、共鳴の空間を構築します。



Gate



Galaxy



Gallery

BetterCoBeingバーチャルURL (DeepLink)

https://contents.ssv.virtualexpo.expo2025.or.jp/deeplink/cushion_page.html?SpaceId=SS-344689

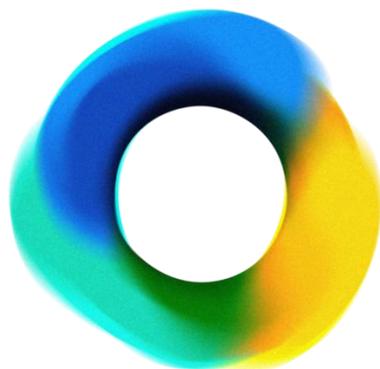


「Better Co-Being」は大阪・関西万博の「EXPO2025デジタルウォレット」と連携しています。「Journal」を作成し、SBTを付与することで「ミャクミャクリワードプログラム」の30,000expを獲得できます。さらに、バーチャルパビリオンの「Journal」展示に応募すると、抽選で10名（予定）にグッズをプレゼントします。（応募は2025年4月3日（木）～6月13日（火）まで）

大阪・関西万博で生命エネルギー「Wellness Energy」を提供 “未来の健康のつくり方”を新提案

大塚製薬株式会社は、協賛するシグネチャーパビリオン「Better Co-Being」で、“未来の健康のつくり方”の新たな提案として、生命エネルギーをコンセプトとした「Wellness Energy」を提供します。

Wellness Energy 特設サイト <https://www.otsuka.co.jp/wellness-energy/top/>



Otsuka
Wellness
Energy

人類にはまだ、
秘められた可能性がある。

おのおのが輝き、互いに響き合うことで、
より良い未来へと向かっていく“いのち”。
私たち大塚製薬が着目したのは、
そのみなもととなる“生命エネルギー”です。

水、栄養、そして酸素。
人間が生きていく上で欠かすことのできない
これら3つの要素を併せたエネルギーを
あらためて見つめ直してみると、
これからの健康のかたちが浮かび上がってきました。

フィジカルはもちろん、感覚や気分など
メンタルのコンディションまでととのえること。
身体の外から“摂り入れる”だけでなく、
体内のエネルギーを可能な限り“活かす”こと。

さあ、あなたの身体に秘められた
ポテンシャルを引き出してみましょう。

当社は「Otsuka-people creating new products for better health worldwide(世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する)」という企業理念のもと、一人ひとりの可能性に向き合うトータルヘルスケア企業として、個人の健康だけではなく、社会全体のウェルビーイングを目指し、人生のあらゆる場面で人々に寄り添い、社会課題の解決に繋がる製品・サービスを通じて健康に貢献すべく事業を展開しています。

当社は、おのおのが輝き、互いに響き合うことで、より良い未来へと向かう“いのち”の源となる“生命エネルギー”に着目してきました。人間が生きていく上で欠かすことのできない「水」「栄養」そして「酸素」の3つの要素を併せたエネルギーを見つめ直し浮かび上がってきた“これからの健康のかたち”とは、身体の外から“摂り入れる”だけでなく、体内のエネルギーを可能な限り“活かす”ことでした。

Sponsorship Highlights



大塚製薬株式会社

●「Wellness Energy」について

「Wellness Energy」は、身体の外から摂り入れるだけでなく、体内のエネルギーを可能な限り活かすため、人間が生きていく上で欠かすことのできない「水・栄養・酸素」の3つの要素を、当社のニュートラシューティカルズ関連事業で培われた知見や研究成果をもとに新たな形状や成分を用いてかたちにしたプロダクトです。



左から: Wellness Energy Water、Wellness Energy Nutrition、Wellness Energy O₂

シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」の来場者に提供する「Wellness Energy」ギフトボックス

Wellness Energy Water

人間の身体の半分以上を占め、エネルギーの循環に寄与する「水分」をかたちにしたプロダクトです。水よりも体液に近い電解質(イオン)バランスを実現したカートカン*入りの飲料です。

Wellness Energy Nutrition

人間が生命活動を営むためのエネルギーの源である「栄養」をかたちにしたプロダクトです。5大栄養素を手軽に補給できる、お湯や水に溶かして飲む粉末タイプのバランス栄養食です。

Wellness Energy O₂

体内のエネルギー生成に必要な役割を果たす「酸素」に着目したプロダクトです。酸素の有効活用に役立つ「ケンフェロール」を含有したタブレットタイプの食品です。

* 缶形状をした紙パック容器

Better Co-Being 共鳴イベント
未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト
supported by 東和薬品



THEME
テーマ

Better Co-Beingとこころの笑顔を実現するための地域社会づくり

「Better Co-Being」とは「ウェルビーイングとサステナビリティの調和の中で、共に生きる」という新しい未来像を表す言葉です。

それぞれの地域社会で抱えている問題を提起し、地域経済や地域社会が活性化
するアイデアを、未来を支える高校生の皆様に考えていただきたい。

人々が明るく健康に暮らせる地域社会を、持続可能なかたちで未来につなげていく
ために、高校生自らが必要だと思うビジネスを提案し、ファイナリストの決勝大会を
8月4日にEXPOホールにて開催します。



東和薬品は、大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」にブロンズパートナーとして協賛しています。



シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」アテンダントスタッフユニフォーム デザイナー中里唯馬氏とともにゴールドウインが製作



シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」は、屋根も壁もなく、万博会場中央にある静けさの森と一体となって佇むパビリオンです。そのため、アテンダントスタッフは、雨の日も風の日も、屋外にて世界中から訪れるゲストが心地よくパビリオンを体験できるようにアテンドしなければなりません。また、気候変動により年々過酷さを増す日本の夏においては、屋外は命に関わるほど温度が上昇し、ゲリラ豪雨（局地的大雨）の頻度も高まっています。この度、当ユニフォームプロジェクトにおいては、適度なフォーマルさと同時に、長時間、野外環境で快適に過ごしていくための機能性の実現が、欠かせないものとなりました。

■デザインコンセプト - 中里唯馬氏

『時間や場所に応じて多様に変化する太陽の光をインスピレーションに、着る人と、様々な環境に応じて、形や着方に無数のパターンが存在する衣服の状態をつくり出すことを目指しました。カタチある物が絶えず移ろい続ける有り様を意味するIMPERMANENCEという言葉、このユニフォームを表す言葉としてタイトルに添えたいと思います。』

■概要

- ・パビリオンが示す未来へのビジョンと共にある衣服
- ・さまざまな独自機構
- ・新たな遮熱素材を開発
- ・AI/3Dデジタル技術を駆使し、環境に配慮したテクスタイルグラフィック開発

詳細は、以下にてご確認ください。

株式会社ゴールドウイン プレスリリース：<https://about.goldwin.co.jp/news/page-37065>



当ユニフォームのイメージビジュアル（1ページ目含む）をご使用いただく際には、©YUIMA NAKAZATO & Goldwin Inc. の記載をお願いします。

オフィシャル素材：

<https://goldwininc.app.box.com/s/6drfz7d2tx5dyvi207qhev6d4x6qoec2>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ゴールドウイン 広報室 TEL：03-6777-9378

当社からのニュースはこちらからご覧いただけます <https://about.goldwin.co.jp/news>

健康とBetter Co-Beingについて考える（希少疾患）

希少疾患の「診断ラグ」問題から ヘルス・エクイティ（医療の公平性）について考える

(Supported by アレクシオンファーマ)

希少疾患の患者さんやご家族のより良い未来のために、世界的な課題である「ヘルス・エクイティ（医療の公平性）」の向上を図るべく、「難病の日」である5月23日に特別セッションを開催します。

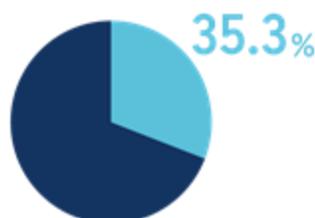
希少疾患の患者さんに公平な医療を届けるために、発症から診断までに時間がかかる「診断ラグ」問題をテーマに、医師、患者会、AI企業などの専門家と解決策について様々な視点から議論を進め、理解を深めます。

診断ラグとは...

確定診断まで多くの時間を要したり、診断がつかなかったりすること。



希少疾患は、確定診断まで
かかる時間が平均3.4年



病初期の誤診率は35.3%

日時：2025年5月23日（金）18:30~20:15（18:00開場）

場所：テーマウィークスタジオ

登壇者（五十音順、敬称略）：

武内俊樹（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 小児発達病因病態学分野 教授）

西村由希子（特定非営利活動法人ASrid 理事長）

武藤真祐（株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長）

山野嘉久（聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科学 主任教授）

未定（一般社団法人日本難病・疾病団体協議会）

濱村美砂子（アレクシオンファーマ合同会社 社長）

協賛企業一覧

○ Gold Partner



○ Silver Partner



○ Bronze Partner



○ Partner



○ Supplier

